

水道メーター直結型 LPWA端末を発売

NTTテレコン

NTTテレコンは2日
から、水道遠隔検針ソリ
ューションのさらなる普



「グッとびくん・W」の設置イメージ

及拡大に向け、水道メーター直結型で防水性能を備えたLPWA端末「グッとびくん・W」の販売を開始した。電子式水道メーターに接続することで、定期検針や漏水警報、ロードサーベイなどの検針業務から請求業務までをワンストップ化できる。メーターメーカーにとらわれない通信機として、豪雪地帯や難検針地域での導入を視野に、検針業務の効率化や省力化のためのソリューションを提供する。

NTTテレコンは10年

以上にわたって、自動検針・集中監視「テレコンスマートサービス」として遠隔検針サービスを提供している。その中でガスのスマートメーター普及に対応するべく、「グッとびくん」と総称するLTE網対応端

末のラインアップを拡充。NTTドコモの回線が利用できる場所であれば設置条件や用途に合わせ手軽に導入できることから、着実に実績を重ねている。

今回発売したグッとびくん・Wは、防水性と防塵機能を備えた電子式水道スマートメーター直結型。このほか水道事業向けの端末としては、隔測表示器に接続でき、主に豪雪地帯で普及している「グッとびくん・M2」がある。

通信機はメーターボックスの中に設置するのが基本だが、地域によってはボックスが雪で埋もれるケースもある。そうした場合もグッとびくん・Wは防水性・通信性を損なわず、安定動作することが確認されている。

また、メーターメーカーではないことを逆手に取り、導入時の自由度を重視。電子式水道スマートメーターであれば製造元を問わず同社の集中監視システム（NTTテレコムセンター）に検針データを集約できるため、受信システムを構築・改修する必要がなく、サーバーメンテナンスや故障時対応といった維持管理コストの縮減にもつながるといふ。

同社によると、グッとびくんシリーズを活用した自動検針は実証を含め20以上の自治体で導入実績がある。